



2024年6月4日
株式会社 阿波銀行

有限会社管建の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社管建（代表取締役 島藤 将紀、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	有限会社管建
所在地	徳島県徳島市川内町米津 65 番地の 5
代表者	島藤 将紀
業種	水道施設工事・管工事・土木工事業
設立	1976 年 12 月 23 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



有限会社管建 代表取締役 島藤 将紀

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
環境	世界中に安全で豊かな水を	水不足・不衛生水利用の改善活動へ参加し、日常生活より汚染排水を出さない取組みを行う	① アドプトプログラムへの参加	6 安全な水とトイレを世界中に
			② 年4回の本社周辺の清掃活動	14 海の豊かさを守ろう
環境	CO2の削減	カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2の削減に取り組む	① エコドライブを励行し、CO2排出量の削減	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
			② 2030年までにCO2排出量7%削減（2023年度比）	13 気候変動に具体的な対策を
社会	働き方改革の推進	業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革へ取組む	① 休暇を取得しやすい風土づくり	3 すべての人に健康と福祉を
			② 隔週土曜日休日化	8 働きがいも経済成長も
経済	廃棄物の削減・再利用	建設産業廃棄物の適正処理リサイクル率の向上に努める	① 建設現場での分別の取組み、リサイクルの推進	12 つくる責任 つかう責任
			② 2030年までにリサイクル比率を87%達成	



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。